

## 企画展

### 「江戸の旅へようこそー今井金吾コレクションの世界ー」

期 間	平成 23 年 2 月 12 日（土）～4 月 10 日（日） 35 日間 （会期は 50 日だが 3 月 11 日発生した東日本大震災に伴う節電 対策により 3 月 15 日～31 日まで臨時休館したため）
会 場	1 階ロビー 第二展示室 小講堂
入館者数	2,089 名

#### 〔開催趣旨〕

品川区大井に在住していた今井金吾氏は、長年にわたり道中記の研究を進め、江戸時代の旅と街道の研究に多大な功績を残した。

本企画展では、今井金吾氏の功績を紹介するとともに、氏が収集された江戸の道中記を中心とした資料を一堂に展示した。当時の旅行案内書から、江戸の旅の興味深い実態と街道沿いの風景を紹介する。

#### 〔展示概要〕

- I 今井金吾氏の功績 その著書と原稿
- II 今井金吾コレクションにみる江戸時代の旅
  1. 街道整備と宿場町
  2. 道中記のはじまりと旅の多様化
  3. 双六・往来物・名所図会の登場
  4. 伊勢参詣と『東海道中膝栗毛』
  5. 「講」の発生
  6. 避けては通れぬ関所を抜けて
  7. 諸国の道中記
  8. 百万都市江戸とその近郊に行く

#### 〔関連事業〕

パネル展示「中原街道を歩く」（会場 小講堂）

#### 〔周知〕

広報しながわ 2 月 11 日号、屋外看板、ポスター・ちらし、歴史館ホームページ等

# 企画展「江戸の旅へようこそ～今井金吾コレクションの世界～」展示資料リスト

会期 平成23年2月12日(土)～4月10日(日)  
品川区立品川歴史館

番号	資料名	作者・編者等	版元・刊行	年代	員数	所蔵先	展示期間等
I 今井金吾氏の功績							
今井金吾氏の街道研究の歩み							
1	今井金吾氏の愛用品 (眼鏡、万年筆、カメラなど)	—	—	昭和～平成	数点	今井家	
2	武江年表	斎藤月岑著	大坂・河内屋茂兵衛 ほか	嘉永2・3年(1849・1850) 明治15年(1882)	4点	当館 (今井金吾コレクション)	
3	定本武江年表(影印本)	斎藤月岑著 今井金吾監修	大空社	平成10年(1998)	4点	今井家	
4	定本武江年表	斎藤月岑著 今井金吾校訂	筑摩書房	平成15・16年 (2003・2004)	3点	個人蔵	
5	方言修行金草鞋	十返舎一九著	江戸・金森堂	天保4年(1833)頃か	23点	当館 (今井金吾コレクション)	
6	方言修行金草鞋(影印本)	十返舎一九著 今井金吾監修 丹和浩解説	大空社	平成11年(1999)	7点	今井家	
7	今昔東海道独案内 (新装版)	今井金吾著	JTB	平成6年(1994)	1点	今井家	
8	今昔中山道独案内 (新装版)	今井金吾著	JTB日本交通公社 出版事業局	平成6年(1994)	1点	今井家	
9	今昔三道中独案内—日光・奥州・甲州—(新装版)	今井金吾著	JTB出版事業局刊 行	平成16年(2004)	1点	今井家	
10	今昔東海道独案内・今昔 中山道独案内・今昔三道 中独案内—日光・奥州・ 甲州—(初版本)	今井金吾著	日本交通公社出版 事業局	昭和49年(1974) 昭和51年(1976) 昭和53年(1978)	3点	今井家	
11	自筆の取材ノート	今井金吾自筆	—	昭和30～50年代か	7点	今井家	
12	今井金吾氏のコラムを載 せた新聞記事	—	日本経済新聞社	昭和61年(1986)9月26日	1点	今井家	パネル展示
13	今井金吾氏のインタ ビューを載せた新聞記事	—	朝日新聞社	昭和53年(1978)5月15日	1点	今井家	パネル展示
14	街道今昔—趣味の宿場め ぐり—	日本経済新聞 社婦人家庭部	社会思想研究会	昭和37年(1962)	2点	今井家	
15	風俗江戸物語	岡本綺堂著 今井金吾校注	河出書房新社	昭和61年(1986)	1点	今井家	
16	講演用原稿「江戸と江 戸っ子の行楽」	今井金吾自筆	—	不明	1点	今井家	
17	道中記集成	今井金吾監修	大空社	平成8年～10年 (1996～1998)	3点 (全47 点中)	今井家	
18	江戸の旅風俗—道中記を 中心に—	今井金吾著	大空社	平成9年(1997)	1点	今井家	
19	旅行用心集(新装版)	八隅廬庵著 今井金吾解説	八坂書房	昭和59年(1985)	1点	今井家	
20	図説東海道五十三次	今井金吾著	河出書房新社	平成12年(2000)	1点	今井家	
21	半七は実在した～「半七 捕物帳」江戸めぐり	今井金吾著	河出書房新社	平成元年(1989)	1点	今井家	
22	半七の見た江戸—『江戸 名所図会』でたどる半七 捕物帳—	岡本綺堂著 今井金吾編	河出書房新社	平成11年(1999)	1点	今井家	

番号	資料名	作者・編者等	版元・刊行	年代	員数	所蔵先	展示期間等
<b>II 今井金吾コレクションにみる江戸時代の旅</b>							
<b>街道整備と宿場町</b>							
23	東海道名所図会	秋里籬島著 竹原春朝齋・北尾政美等画	京・田中庄兵衛ほか	寛政9年(1797)	6点	当館 (今井金吾コレクション)	
24	伝馬朱印状 (東海道桑名宿宛)	徳川家康 (発行)	—	慶長6年(1601)1月	1点	物流博物館	2/12~3/13
25	伝馬定書 (東海道桑名宿宛)	伊奈忠次 彦坂元正 大久保長安	—	慶長6年(1601)1月	1点	物流博物館	3/15~4/10
26	問屋場之図(農商務省駅 通局編『大日本交通史 原名・駅通志稿』復刻版よ)	—	—	—	1点	物流博物館	解説パネル「街道整備と宿場町」内掲示
27	道中奉行所の印鑑	都築但馬守	—	慶応2年(1866)7月	1点	当館 (今井金吾コレクション)	
28	人馬札 「継人足壱人」「継馬壱疋」	—	—	江戸時代後期か	2点	当館 (今井金吾コレクション)	
29	五駅便覧	(道中奉行所役人)	—	天明8年(1788)頃か	1点	当館 (今井金吾コレクション)	

<b>道中記のはじまり</b>							
30	海陸不求人	作者不明	江戸・中村五兵衛	万治2年(1659)11月	1点	国立国会図書館	パネル展示
31	諸国案内旅雀	伝菱川師宣画	刊行者不明	享保5年(1719)改正板 [貞享4年(1687)初版]	1点	当館 (今井金吾コレクション)	
32	諸国安見回文之絵図	伝菱川師宣画	刊行者不明	貞享2年(1685)頃	1点	当館 (今井金吾コレクション)	
33	増補江戸道中記	作者不明	刊行者不明	正徳2年(1712)頃	1点	当館 (今井金吾コレクション)	
34	東海道分間絵図	遠近道印作・菱川師宣画	江戸・板木屋七郎兵衛	元禄3年(1690)1月	1点 (全5点の内)	当館	パネル展示
35	木曾懐宝道中鑑	石川流宣画	江戸・須原屋久兵衛	正徳元年(1711)頃	1点	当館 (今井金吾コレクション)	
36	伊勢道中行程記	酔雅子訂	大坂・佐々井次郎右衛門	寛延4年(1751)	1点	当館 (今井金吾コレクション)	
37	新板東海道分間絵図	桑楊編	江戸・吉文字屋次郎兵衛	宝暦2年(1752)9月	1点	当館 (今井金吾コレクション)	2点展示
38	木曾道中勝景行程記	作者不明	大坂・佐々井治右衛門	明和5年(1768)再版 [宝暦4年(1754)初版]	1点	当館 (今井金吾コレクション)	
39	岐蘆路安見絵図	桑楊編	江戸・須原屋茂兵衛ほか	宝暦6年(1756)11月	1点	当館 (今井金吾コレクション)	
40	東海岐蘇両道中懐宝図鑑	作者不明	江戸・須原屋茂兵衛	天明6年(1786)1月	1点	当館 (今井金吾コレクション)	
41	増補新改日光道中行程記安見絵図	作者不明	江戸・須原屋伊八	嘉永3年(1850)春補刻 [安永5年(1776)初版]	1点	当館 (今井金吾コレクション)	
42	吾孀路記	貝原益軒	刊行者不明(京・茨城多左衛門原板)	享保6年(1721)	1点	当館 (今井金吾コレクション)	
43	きそ路乃記	貝原益軒	京・茨城多左衛門	正徳3年(1713)頃	1点	当館 (今井金吾コレクション)	
44	日光名勝記	貝原益軒	京・茨城多左衛門	享保6年(1721)再刊 [正徳4年(1714)1月初版]	1点	当館 (今井金吾コレクション)	

番号	資料名	作者・編者等	版元・刊行	年代	員数	所蔵先	展示期間等
双六・往来物・名所図会の登場							
45	道中往来	作者不明	江戸・伊勢屋半七	文化13年(1816)	1点	当館 (今井金吾コレクション)	
46	隅田川往来	禿篋子	江戸・辻村五兵衛	天保14年(1843)	1点	当館 (今井金吾コレクション)	
47	頭書絵入 大師川原 矢口詣 全	高井蘭山	江戸・花屋久治郎	寛政6年(1794)	1点	当館 (今井金吾コレクション)	
48	江都名物吾妻錦画 東海道細見双六	北尾重政画	江戸・永寿堂板	明和～天明年間 (1764～1789)	1点	当館	パネル展示
49	東海道五十三駅名所旧跡行程記新鐫道中双六	一筆庵英泉画	江戸・佐野屋喜兵衛	江戸時代	1点	当館 (今井金吾コレクション)	2/12～2/26
50	東海道五十三駅名所図会風景双六	初代歌川広重画	江戸・丸屋清次郎	弘化4年～嘉永5年 (1847～52)	1点	当館	パネル展示
51	都名所図会	秋里籬島著 竹原春朝齋画	京・吉野屋為八	安永9年～天明6年 (1780～86)	11点	当館 (今井金吾コレクション)	
52	拾遺都名所図会	秋里籬島著 竹原春朝齋画	京・吉野屋為八	天明7年(1787)	5点	当館 (今井金吾コレクション)	
53	摂津名所図会	秋里籬島著 竹原春朝齋画	京・小川多左衛門	寛政8・10年 (1796・98)	12点	当館 (今井金吾コレクション)	
54	木曾路名所図会	秋里籬島著 西村中和画	大坂・河内屋太助	文化2年(1805)	7点	当館 (今井金吾コレクション)	
55	善光寺道名所図会	豊田利忠著 豊田利忠・小田切春江画	名古屋・美濃屋伊六	嘉永2年(1849)	5点	当館 (今井金吾コレクション)	

伊勢参詣と伊勢参宮路							
56	参宮上京道中一覽双六	初代歌川広重画	江戸・蔦屋吉蔵	安政4年(1857)	1点	当館 (今井金吾コレクション)	2/12～2/26 (以降パネル展示)
57	伊勢参宮名所図会	蒔関月著・画	京・藤屋孫兵衛	寛政9年(1797)	8点	当館 (今井金吾コレクション)	
58	東海道中膝栗毛	十返舎一九	大坂・河内屋和助	享和2年～文化6年 (1802～1809)	20点	当館	
59	伊勢参宮細見大全	芙蓉山人	京・菊屋喜兵衛	明和3年(1766)1月	1点	当館 (今井金吾コレクション)	
60	伊勢路のしるべ	作者不明	伊勢・藤原長兵衛	寛延4(1751)11月	1点	当館 (今井金吾コレクション)	

「講」の発生							
61	伊勢道中記	末田道麿	広島・井筒屋板	安永4年(1775)	1点	当館 (今井金吾コレクション)	
62	伊勢山田 宮本御講中	作者不明	大坂・平野屋佐吉	江戸末期	1点	当館 (今井金吾コレクション)	
63	定宿附道中記	富士谷東遊子校	刊行者不明	寛政7年(1795)頃	1点	当館 (今井金吾コレクション)	
64	浪花講定宿帳	松屋甚四郎編	大坂・松屋甚四郎	嘉永5年(1852)	1点	当館 (今井金吾コレクション)	3点展示
65	東講商人鑑 附五海道中細見独案内	大城屋良助編	江戸・大城屋良助	安政2年(1855)9月	3点	当館 (今井金吾コレクション)	
66	(品川宿絵図)	—	—	江戸時代後期	1点	当館 立正大学所蔵・当館保管(南品川宿名主利田家文書)	パネル展示

避けては通れぬ関所を抜けて							
67	箱根関所手形 「指上ヶ申手形事」	江戸通油町太郎兵衛店太兵衛	—	享保9年(1724)4月6日付	1点	当館 (今井金吾コレクション)	
68	横川関所手形 「差上申一札之事」	高崎宿大坂屋庄右衛門	—	安政6年(1859)9月4日付	1点	当館 (今井金吾コレクション)	
69	福島関所手形(複製)	成瀬織部	—	宝暦10年(1760)6月15日	1点	当館 (今井金吾コレクション)	
70	往来手形「往来一札之事」	越後国蒲原郡朝日村林正寺	—	文政6年(1823)9月付	1点	当館 (今井金吾コレクション)	
71	東海道風景図会	柳下亭種員筆 初代歌川広重	京・吉野屋勘兵衛	嘉永4年(1852)	2点	当館	
72	旅行用心集	八隅廬庵筆	江戸・須原屋茂兵衛	文化7年(1810)8月	1点	当館 (今井金吾コレクション)	
73	増補海陸行程細見記	鳥飼醉雅校	大坂・秋田屋良助	天保7年(1836)3月	1点	当館 (今井金吾コレクション)	
74	新板諸国道中旅鏡	柴山加治禎胤編	江戸・和泉屋半兵衛	弘化5年(1848)春	1点	当館 (今井金吾コレクション)	
75	伊勢参宮入用控 伊勢参宮日記帳	原嶋歌司筆	—	文久2年12月～3年 (1863)	2点	当館	

番号	資料名	作者・編者等	版元・刊行	年代	員数	所蔵先	展示期間等
76	薬入れ	作者不明	—	江戸時代後期	1点	当館	
77	箱矢立	作者不明	—	江戸時代	1点	当館	
78	旅行小間物道具一式	作者不明	—	幕末期か	1点	当館	
79	懐中柄鏡	作者不明	—	江戸時代後期	1点	当館	
80	道中守り	作者不明	—	江戸時代	1点	当館	
81	印籠	作者不明	—	江戸時代	1点	当館	
82	小田原提灯	作者不明	—	江戸時代	1点	当館	
83	煙管	作者不明	—	江戸時代	1点	当館	

諸国の道中記							
84	蝦夷行程記	阿部喜任編	江戸・播磨屋勝五郎	安政3年(1856)11月	1点	当館 (今井金吾コレクション)	2点展示
85	東部蝦夷地道中記	山崎景憲編・書	—	安政(1854~60)頃書	1点	当館 (今井金吾コレクション)	
86	(東海道經由金沢道中記)	梅本鶯斎画 小森金城書 遠藤高朗跋	江戸・中沢与兵衛	安政5年(1858)2月	1点	当館 (今井金吾コレクション)	
87	東海道巡覧記	廬橘堂適志編	京都・菱屋治兵衛	延享3年(1746)	1点	当館 (今井金吾コレクション)	
88	(日光道中図)	小寺氏実写	—	安永4年(1775)9月書	1点	当館 (今井金吾コレクション)	
89	從撰州尼ヶ崎至長州萩府道中細見記	作者不明	大坂・金林堂	慶応元年(1865)4月改正	1点	当館 (今井金吾コレクション)	
90	播磨巡覧記	田原相常	大坂・柏原屋与左衛門ほか	文化4年(1818)1月	1点	当館 (今井金吾コレクション)	
91	(自佐賀至江戸道中記)	作者不明	—	享保17年(1731)1月頃	1点	当館 (今井金吾コレクション)	

百万都市江戸とその近郊を行く							
92	東都近郊図	仲田惟善	刊行者不明	文政13年(1830)改正 [文政8年(1825)初版]	1点	当館 (今井金吾コレクション)	2/12~3/13
93	東都花暦名所案内	作者不明	九 堂版	天保3・4年(1832・33)頃	1点	当館 (今井金吾コレクション)	3/15~4/10
94	江の島詣で浜のさざ波	平亭銀鷄	刊行者不明	天保4年(1833)	1点	当館 (今井金吾コレクション)	2点展示
95	筑紫紀行図誌(写)	素言	—	天明6年(1786)	1点	当館	2/12~3/13 (以降パネル展示)
96	江ノ島鎌倉道中記	景斎英寿	江戸・藤岡屋慶治郎	弘化4~嘉永5年 (1847~1852)	1点	当館 (今井金吾コレクション)	2/12~3/13 (以降当館所蔵本を 展示)
97	永代御江戸絵図	—	江戸・村田屋彦兵衛	弘化2年(1845)1月	1点	当館 (今井金吾コレクション)	
98	江戸名所一覽双六	二代歌川広重	江戸・蔦屋吉蔵	安政6年(1859)6月	1点	当館	パネル展示
99	絵本江戸土産	西村重長画	江戸・奥村喜兵衛	宝暦3年(1753)	3点	当館 (今井金吾コレクション)	
100	絵本続江戸土産	鈴木春信画	江戸・奥村喜兵衛	明和4年(1767)	3点	当館 (今井金吾コレクション)	
101	江戸名所花暦	岡山鳥編著 長谷川雪旦画	江戸・守不足齋	文政10年(1827)1月	3点	当館 (今井金吾コレクション)	
102	江戸名所図会	斎藤幸雄・幸孝・幸成	江戸・須原屋茂兵衛ほか	天保7年(1836)	20点	当館	
103	改正まちづくし 全	作者不明	江戸・本屋久兵衛	嘉永頃(1849~54)頃	1点	当館 (今井金吾コレクション)	2点展示
104	江戸砂子	菊岡沾涼編輯	江戸・万屋清兵衛	享保17年(1732)5月	6点	当館 (今井金吾コレクション)	続江戸砂子6点 とともに展示
105	近江屋板江戸切絵図 日本橋南・芝口南迄八丁堀・靈岸島・築地絵図	—	江戸・近江屋吾平	嘉永3年(1850)春	1点	当館	
106	近江屋板江戸切絵図 四ッ谷・千駄ヶ谷・内藤新宿絵図	—	江戸・近江屋吾平	嘉永3年(1850)春	1点	当館	
107	近江屋板江戸切絵図 深川之内小名木川ヨリ南の方一円絵図	—	江戸・近江屋吾平	嘉永3年(1850)春	1点	当館	
108	尾張屋板江戸切絵図 芝三田・二本榎・高輪辺絵図	—	江戸・尾張屋清七	嘉永3年(1850)春	1点	当館	パネル展示
109	宝永武鑑	—	江戸・須原屋茂兵衛	宝永6年(1709)	1点	当館 (今井金吾コレクション)	
110	江戸町鑑	出雲寺著	江戸・出雲寺	嘉永4年(1851)改正	1点	当館 (今井金吾コレクション)	
111	江戸名所神社仏閣古跡 独案内	—	江戸・和泉屋半兵衛	天保14年~弘化4年 (1842~46)頃	1点	当館	
112	改正新版増補日本汐路 之記	高田政度編	大坂・松本屋新助	寛政8年(1796)春 増補再板	1点	当館 (今井金吾コレクション)	
113	南浦桜案内	杜格斎景山	大井・杜格斎景山	文化年間(1804~18)か	1点	当館	

番号	資料名	作者・編者等	版元・刊行	年代	員数	所蔵先	展示期間等
114	江戸名所図会「品川駅」	斎藤幸雄・幸孝・幸成	江戸・須原屋茂兵衛ほか	天保7年(1836)	1点	当館	パネル展示
115	東海道五十三次之内品川 鮫洲朝之景	初代歌川広重画	江戸・江崎屋吉兵衛	天保13年(1842)頃	1点	当館	2/12~2/26 (以降パネル展示)
116	東海道風景図会	一雄斎国輝画	江戸・藤岡屋慶治郎	慶応元年(1865)	1点	当館 (今井金吾コレクション)	
117	(品川宿並図写)	—	—	不明(原図は弘化2年(1845)頃成立)	1点	当館	
118	安見御江戸絵図	金丸彦五郎画	江戸・須原屋茂兵衛	文政11年(1828)	1点	当館 (今井金吾コレクション)	

- 1)「番号」欄は、このリスト上のものであり、実際の展示資料に番号は付いておりません。
- 2)「資料名」欄のうち、( )でくくっているものは仮題です。No86・88・91は今井金吾氏によって付けられました。
- 3)「展示期間等」欄のうち、空欄になっている資料はいずれも通期展示(2/12~4/10)です。